

・**全世界:新型コロナウイルスの流行**

2019 年 12 月中旬から中国・武漢で原因不明の肺炎患者が多発し、WHO は 1 月中旬にこの原因が新型コロナウイルスの流行であることを確認しました(WHO Outbreak news 2020-1-12)。流行の当初、患者の多くは武漢の某食品市場に出入りしており、この市場で販売されていた野生動物から感染したものとみられています。その後、患者発生は武漢のある湖北省を中心に中国全土に拡大し、1 月 27 日までに患者数は2000人以上になりました。このうち 56 人が死亡しています。また、海外でも日本、台湾、韓国、タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム、ネパール、アメリカ、フランス、オーストラリアなどで患者が確認されています。WHO は 1 月 23 日に緊急会議を開き、今回の新型コロナウイルスの流行状況を検討しましたが、「国際的な公衆衛生上の緊急事態」には至っていないとの結論を出しました(WHO Statement 2020-1-23)。この時点で、湖北省(武漢など)では新型コロナウイルスの持続的なヒト-ヒト感染が発生しているものの、それ以外の地域では限定的な感染であるということが理由です。しかし、今後、湖北省以外でも流行が拡大した場合には、WHO が緊急事態宣言を行う可能性があります。なお、日本の外務省は湖北省への渡航中止勧告を 1 月 24 日に発令しました(外務省・海外安全センターHP 2020-1-24)。

・**全世界:インフルエンザの流行状況**

北米、ヨーロッパ、東アジアでインフルエンザが流行期に入っています(WHO Influenza 2020-1-20)。流行しているウイルスの種類は、北米で B 型、ヨーロッパや中国では A 型(H3N2)、日本では A 型(H1N1)が多く検出されています(国立感染症研究所 2020-1-24)。いずれの地域でも流行は 1 月末になり鎮静化しつつあります。

・**アジア:デング熱の流行状況**

2020 年 1 月に入りマレーシアやシンガポールではデング熱患者数が増加傾向にあります(WHO 西太平洋 2020-1-16)。マレーシアでは 6000 人、シンガポールでも 300 人以上の患者が発生している模様

です。赤道周囲の東南アジア地域ではデング熱の流行が1月から始まるため、滞在中は蚊に刺されない注意を心がけてください。

・**アフリカ:コンゴのエボラ熱流行**

コンゴ民主共和国で流行中のエボラ熱の患者発生数は最近、減少傾向にあります。1月の新しい患者数は毎週10人前後で、流行のピークは越えた模様です(WHO Outbreak news 2020-1-23)。昨年8月の流行発生以来、累積患者数は3416人(疑い含む)で、このうち2238人が死亡しました。

・**南米:ブラジルで蚊媒介感染症が増加**

ブラジルでは2019年にデング熱患者数が200万人を越え、サンパウロ市では過去最高の3万人の患者数を記録しました(Outbreak news today 2020-1-3)。ジカ熱の患者数も北部のペルナンブコ州で2019年は3800人となり、2018年に比べ150%増加しています(ProMED 2020-1-13)。また、今年1月からサンパウロ州などで黄熱の患者数が増加しており、300人以上の患者(疑いを含む)が発生している模様です(Outbreak news today 2020-1-19)。デング熱、ジカ熱、黄熱はネッタイシマカなど昼間吸血する蚊が媒介します。